

新型コロナウイルス感染症流行下 における災害と保健医療



2021年9月3日

WHO健康開発総合研究センター

医官（健康危機管理担当）

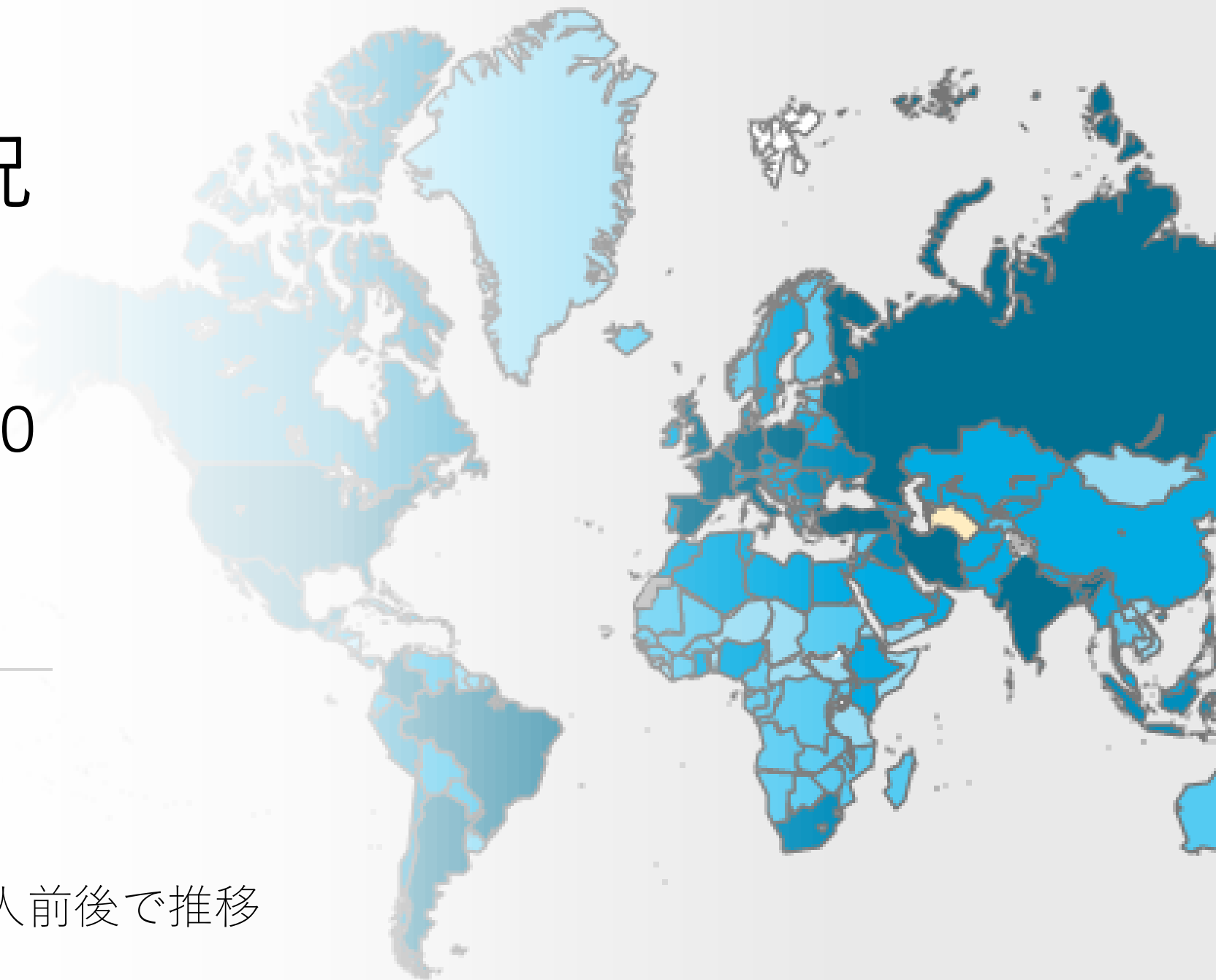
長崎大学、広島大学客員准教授 茅野龍馬

世界の感染状況 9月1日時点

症例：216,867,420

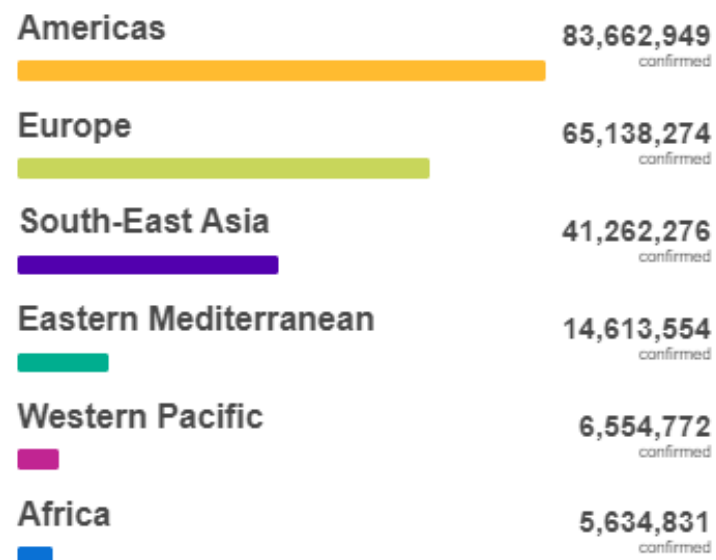
死亡：4,507,837

週ごとの感染報告: 450万人前後で推移



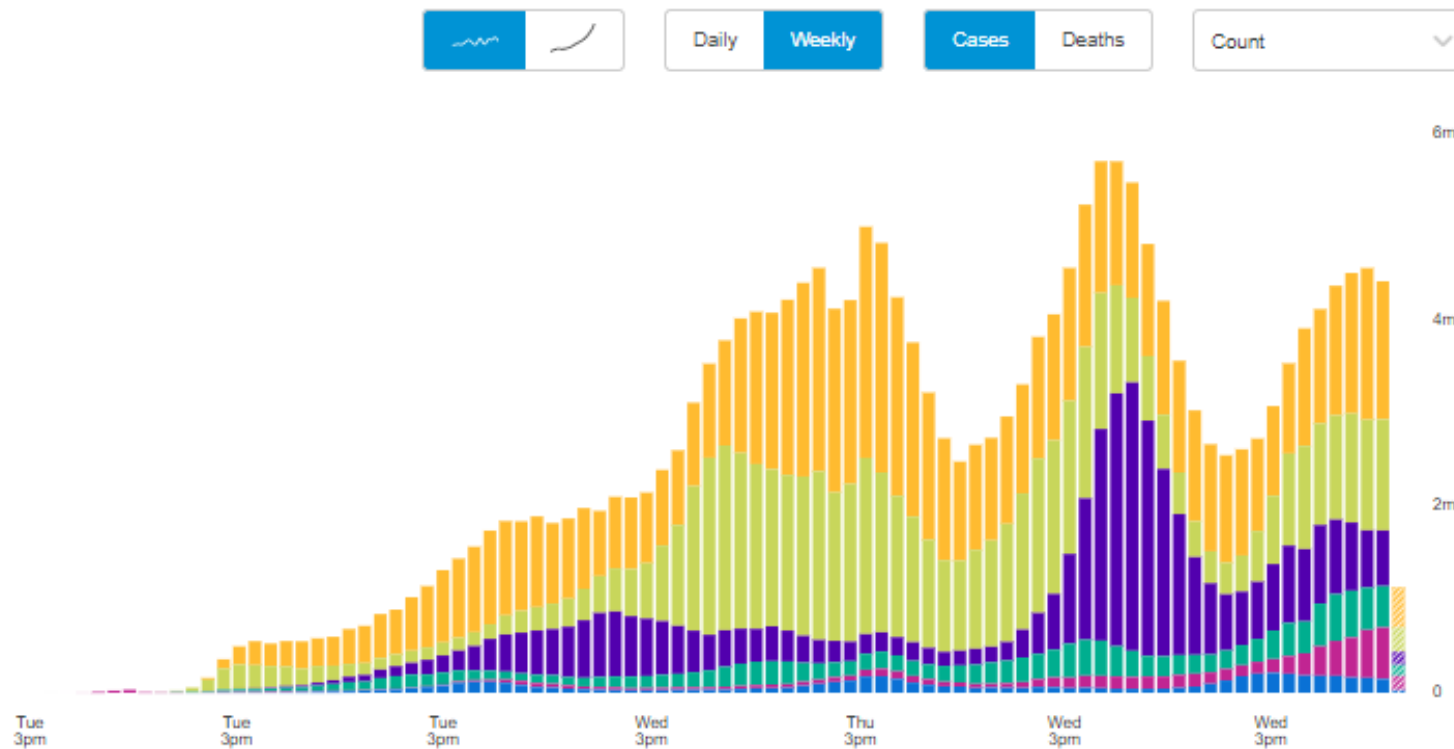
地域ごとの感染者数

Situation by WHO Region

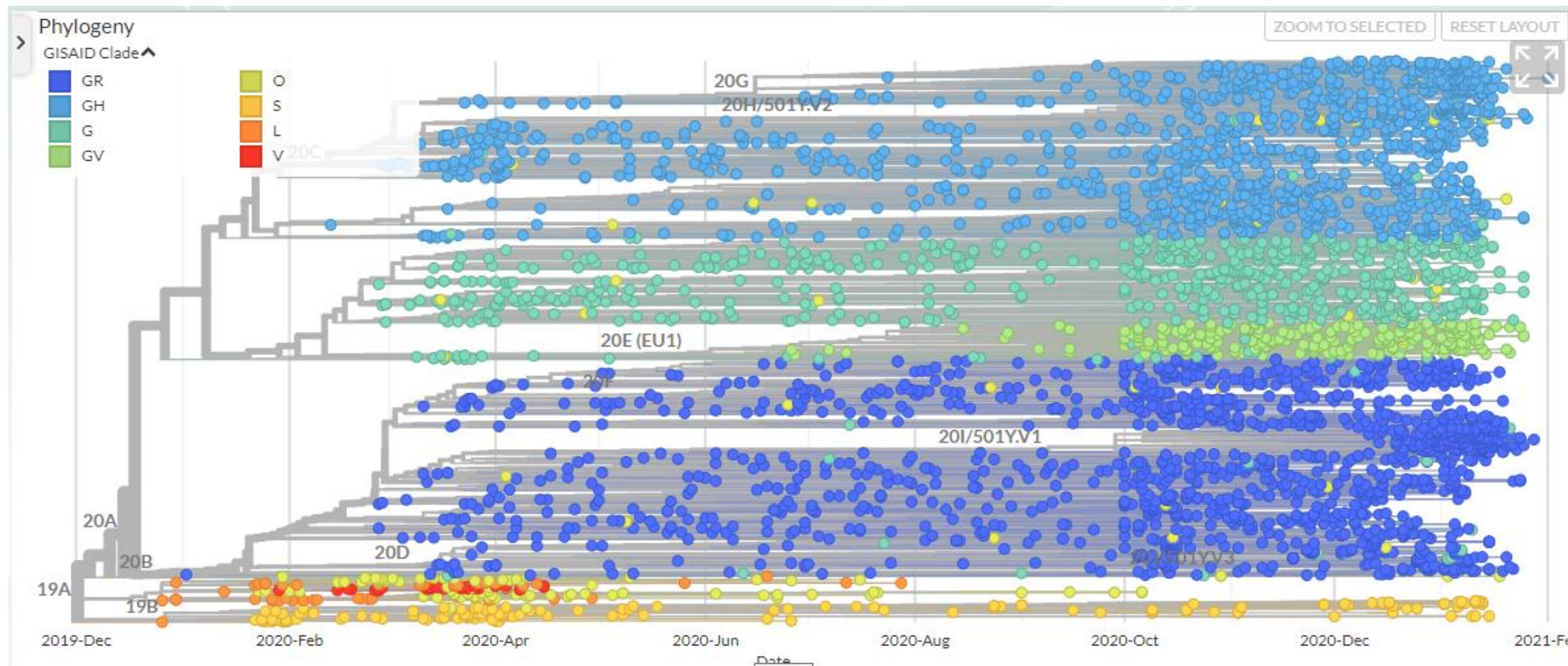


Source: World Health Organization

▨ Data may be incomplete for the current day or week.



ウイルスはどこからきてどう広がったか



注目すべき変異株（VOI）

- 感染力、重症化傾向、ワクチンや免疫の効果、診断や治療への反応性などに関連する遺伝子変異をもっていて、かつ
- 複数の国において市中感染もしくは複数のクラスターを起こしており、感染者数が増加傾向にある
- 現時点ではEta, Lota, Kappa, Lambda, Muの5種類がVOIとして認定されている。

懸念される変異株（VOC）

- VOIの定義を満たし、かつ
- 感染力の増加や疫学的に有害な変化を認める または
- 毒性（重症化傾向）や臨床所見の変化を認める または
- ワクチンや治療、診断、公衆衛生対策の有効性の低下を認める
- 現在Alpha（192か国で報告）、Beta（141か国）、Gamma（86か国）、Delta（163か国）がVOCとして認定されている。

Delta株

- 初期のウイルスの2倍、Alpha株の1.5倍の感染力
- そのため多くの国で流行ウイルスの多数を占めるように
- 感染者がより入院が必要になりやすいという報告。一方で、死亡については他の株と有意差がなし。
- 感染や軽度の症状に対するワクチンの保護効果を減ずるという報告。一方で重症化の保護効果は有意差なし。
- 子供への影響は他の株と差異なし。
- 出現する症状も他の株と差異なし。

ワクチンと治療

- 6つのワクチンがWHOの基準をクリアし承認済。
- 296のワクチンが開発中、うち112は臨床試験中。
- 8月末時点で50億回以上のワクチン接種が完了し、10億人以上が2回接種完了。
- 一方で、全接種の8割近くがわずかに10か国で行われている。高所得国では100人あたり100回投与が達成できているが、低所得国では100人あたり1.5回投与の状態。
- 治療法の開発も進み、重症化対策に使える薬の選択肢も増えてつつあるが、リソース分配の格差が課題。

全社会的アプローチの必要性和 保健医療の役割

- 保健医療分野の直接的役割：検査能力の確保、ワクチン接種、治療法の確立、それらを提供する人材の育成と設備の拡充など
- 関連分野の役割：医療資源の確保、保健医療人材や設備への支援、ヘルスリテラシーの向上、正しい知識や情報の提供、関係各所の利害調整と政策や事業の一貫性の担保など

WHOの対策活動（要旨）と2020年の実績

- ガイダンス、リーダーシップ：科学的根拠にもとづく戦略立案と共有。
- **PPE**、検査機器などの物資提供：**177**か国に約**3億**の物資・機器を提供。検査能力の拡充。
- **COVID-19**サプライチェーンシステムの確立：物資調達の調整や医療用酸素提供の仕組みづくり。
- 科学的根拠に基づく情報提供：**500**超の一般向け・関係者向け資料発行。**SNS**を活用した情報提供。
- 人材育成支援：無料のオンライントレーニング提供。約**350**万人が受講。
- 人材派遣：**130**カ国以上に専門家を派遣し、技術的支援と対策実施支援を行う
- ワクチン、治療法開発の促進支援：治験プログラムに**30**カ国約**500**病院が参加
- ワクチン、治療法、検査の平等な分配メカニズム構築：**ACT**アクセラレーター

検査能力の拡充

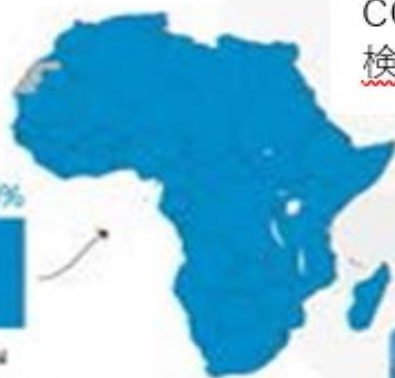
WHO の支援により
アフリカの国々の検査能力が
6 か月の間に劇的に上昇

2020 年初頭
検査能力を
有する国は
**わずか
2 か国**



わずか 1 カ月の間に
3 分の 2 の国が
検査能力を獲得

2020 年中旬には
54 か国すべてで
COVID-19 の
検査が可能に



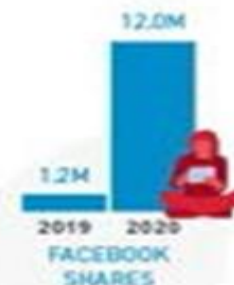
(2020 年 12 月 8 日時点)

ソーシャルメディアを介した情報共有

WHO のフォロワーは
2019 年の 1,300 万人から
2020 年には 6,000 万人と
約 5 倍に増加。

WHO launched on 7 new platforms
in 2020: Giphy, Messenger, Snapchat,
TikTok, Twitch, Viber and WhatsApp.

WHO SOCIAL MEDIA
ACCOUNT FOLLOWERS
AND SUBSCRIBERS 2020



全ての WHO の
ソーシャルメディア
チャンネルで
シェアの回数が増加



1,300 万人以上の
WhatsApp ユーザーと
19 の言語でコミュニケー
ション、今後さらに言語
を増加予定



50 か国以上にわたる
100 万人以上の
Free Basics ユーザーに
データ通信料を課金なく
情報を提供

(2020 年 12 月 1 日時点)

ワクチン・治療法の開発と公平な分配

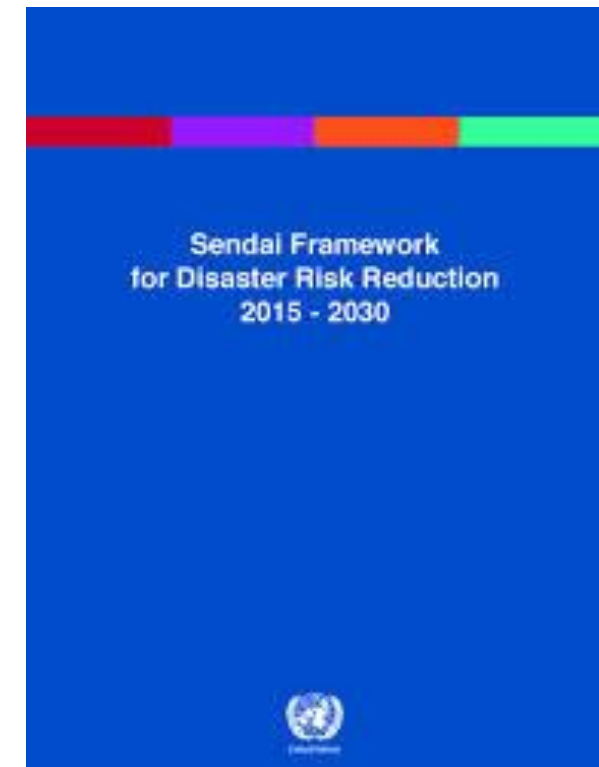
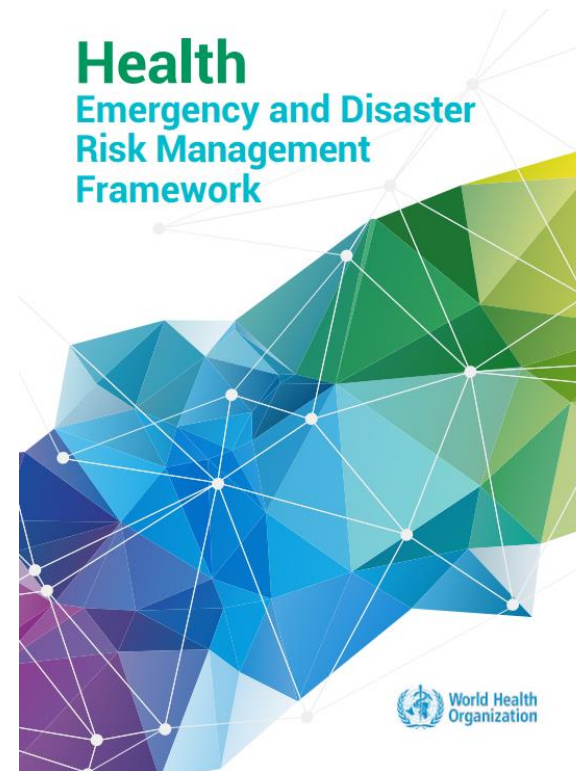
- ワクチン評価基準を設定し、前臨床試験段階からの進捗を報告するガイドを提供
- **Solidarity trial**：全世界の病院や研究施設が臨床試験に参加するプラットフォームを構築し、**21**の治療薬に対し**47**か国**85000**人が参加する**15**の臨床試験を実施。
- **ACT**アクセラレーター：診断・治療・ワクチンの公平分配を行うメカニズムの構築。診断については、検査キットの配布と使用法のトレーニング提供（**190**か国**23000**人以上）をし、治療については、デキサメタゾン約**300**万回分を配布する。
- ワクチンについては、**COVAX**ファシリティを通じて、現在**139**か国に対して**2億**回分以上のワクチン投与を提供。

これからどうすればいいのか

- 全ての国がワクチンで保護されるまで、安全は確保されない（麻疹の例）。
- **ワクチンナショナリズム**が大きな課題。現時点で50億回以上のワクチンが投与されているが、8割近くがGDP上位のわずか10カ国で実施されている。
- **公衆衛生対策は継続して実施が必要**：ワクチン接種者（抗体保持者）からウイルス伝播が起こらないというエビデンスはまだない。
- **変異株の流行による急激な医療需要の拡大**を視野に入れた備え、キャパシティ拡充が重要。

災害・健康危機管理対策とCOVID-19

- ワクチンや治療に関する研究事業に加えて、社会全体としてどのように向き合い、調整し、実践したかを調査解析し、教訓と優良事例を未来の備えにいかす、という研究、研究成果と政策事業の橋渡し、エビデンスに基づく政策・事業の実践が必要である。
- WHO神戸センターは全社会的アプローチとレジリエンスに関する研究を国内外の大学と協力して実施中。



Be **READY** for #coronavirus

WHO is giving advice on how to protect ourselves & others:



Be **SAFE** from coronavirus infection

Be **SMART** & inform yourself about it

Be **KIND** & support one another

Learn more about #COVID19 & share with your loved ones: www.who.int/COVID-19



UNITED NATIONS



World Health
Organization

• 新型コロナウイルス 対策に関するWHO のメッセージ

- Be SAFE: 地味な心掛けを続けること
- Be SMART: 正しい知識と情報入手すること
- Be KIND: 人と人々が支えあうこと